

そのダイヤ、実は買い物に使えない？

～「行ける・行けない表」で明らかにする地域の課題～

路線バスは通勤・通学、通院、買い物といった日常生活の目的を支える重要な移動手段であり、隣接市町村を含めた交通ネットワークを形成しています。

しかし、ダイヤ設定によっては買い物移動に使いにくい場合や、バスの減便や廃止により、日常生活の目的を達成できなくなることもあり得ます。

本講義では交通ネットワークとサービスレベルを確認できる「行ける・行けない表」の概要や作成を通じて、バス路線の重要性を学ぶことができます。お気軽にご参加ください。

※「行ける・行けない表」とはある地区に居住する人が、公共交通サービスを使って生活に必要な活動にアクセス（通勤、通学、通院、買い物など）できるかどうかをチェックするツールです。

（詳細は次ページをご覧ください。）

開催概要

日時：令和7年11月10日 月

13:30～16:30

◆申込期限 10月24日（金）

会場：プロム津駅前

（三重県津市羽所町380-1 津駅東口ビル2階）

対象：県・市町村の公共交通ご担当者様
交通事業者の皆様（定員30名程度）

※中部運輸局管外の方でも参加できます

持ち物：PC・スマホなど、路線図や
ダイヤを調べられるもの

講義

「行ける・行けない表」の目的と作り方

対象地域内の交通ネットワークとサービスレベルの性能を確認するため、「行ける・行けない表」の趣旨を説明をします。

対象地区に居住する人が、交通サービスを使って生活に必要な目的地（通勤、通学、通院、買い物）にアクセスができるかチェックするとともに各路線・系統の機能評価をします。

グループ意見交換・発表

講義内容を踏まえ、グループで「行ける・行けない表」を作成し、対象地域での交通ネットワークがあるか確認し、行けない目的地への対応を意見交換し、発表します。

※「行ける・行けない表」の作成では、交通事業者の路線図・ダイヤを検索できるPC等の通信機器をご持参願います。

講師紹介

福本 雅之 氏

（合同会社萬創社 代表社員／
名古屋大学客員准教授）

【プロフィール】

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻修了。博士(環境学)。名古屋大学研究員、(公財)豊田都市交通研究所、合同会社おでかけカンパニー代表社員等を経て、2023年5月より現職。公共交通に関するコンサルティング全般、人材育成に取り組んでいる。東海地方を中心とした自治体の地域公共交通会議に有識者委員としても参画。



申込方法 ▶二次元コード又は

以下フォームまでアクセスください。
<https://questant.jp/q/benkyo2025-2>

お問い合わせ

主催：国土交通省中部運輸局交通企画課 【担当】小坂井、堺、竹内（TEL: 052-952-8006）

事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 【担当】近藤（TEL: 052-307-0932 / e-mail: transport_info@murc.jp）

「行ける・行けない表」の作成方法は以下URLからご覧いただけます。
https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/library/pdf/R7.3_ikeruikenai_hyou.pdf

出発地	施設	高校										
		下田高校	稲取高校	下田高校 南伊豆分校	松崎高校	伊豆総合 高校	伊豆総合 高校土肥 分校	伊豆伊東 高校	伊豆中央 高等学校	韭山高等 学校	田方農業 高等学校	三島南高 等学校
南伊豆町	往路	○	○	○	×往復経路違い	×	×					
	回数	0	2	0	0	×	×					
	総運賃	¥940	¥1,690	¥0	¥1,760	×	×					
	総所要時間	0:36	1:07	0:00	1:04	×	×					
	利用交通機関	東海バス S63	東海バス S63→伊豆 急行→東海 バス S03	徒歩	東海バス S80		×					
松崎町	往路	○	○	○	○(徒歩も可)	○	○	○	○	○	○	○
	回数	0	2	1	0	0	0	1	1	1	1	1
	総運賃	¥1,400	¥2,170	¥2,300	¥200	¥2,620	¥1,500	¥2,900	¥2,930	¥2,930	¥3,020	¥3,060
	総所要時間	0:42	1:20	1:44	0:04	1:33	0:54	1:42	1:54	1:57	2:02	2:07
	利用交通機関	東海バス W40	東海バス W40→伊豆 急行→東海 バス S03	東海バス W40→東海 バス S60	東海バス W40	東海バス W39	東海バス W30	東海バス W40→伊豆 急行	東海バス W39→伊豆 箱根鉄道駿 豆線	東海バス W39→伊豆 箱根鉄道駿 豆線	東海バス W39→伊豆 箱根鉄道駿 豆線	東海バス W30→伊豆 箱根鉄道駿 豆線
南伊豆町	復路	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	回数	1	2	0	1	×	×	×	×	×	×	×
	総運賃	¥1,080	¥1,690	¥0	¥2,240	×	×	×	×	×	×	×
松崎町	復路	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	回数	1	2	0	1	×	×	×	×	×	×	×
	総運賃	¥1,080	¥1,690	¥0	¥2,240	×	×	×	×	×	×	×

行きは直通、帰りは乗り継ぎが発生するが、定期券は通し発行のため○

往復できるが、往復で経路が違う場合、定期券が購入できないため通勤や通学は×
※定期利用でない通院の場合は○

運賃や所要時間が利用者の許容範囲を越えると判断される場合には、ダイヤ上は行けても「行けない」判定とする場合もあり得る
※今回は考慮せず